【投稿者氏名】　※投稿者全員の氏名を記載する

本注釈および赤字の説明や記載例はすべて削除する

／

東京　花子\*1,\*3，三田三葉子\*2，港原　　都\*3

※上付き数字は，下記【所属機関名】の上付き数字と食い違いのないように注意する

※所属機関が複数ある方の場合は，該当する所属機関名の上付き数字を小さい順に並べる

【所属機関名】　※投稿者全員の所属機関（部署名，研究室名を含む）を記載する

\*1〇〇県〇〇課

\*2〇〇研究所〇〇室

\*3〇〇大学〇〇学部〇〇学科

【連絡責任者氏名】

【郵便番号】　〒 ※連絡先は誌面にて公表されるため，所属機関等がのぞましい

【住所】 　　　　※都道府県名から記載する

【電話番号】

【Fax】

【E-mail】

【和文抄録の字数】　 　 字

【原稿本文の枚数】　 　 枚　（刷り上がり　　頁相当）

【図の個数】　　　　 　 個　（刷り上がり　　頁相当）

【表の個数】　　　　 　 個　（刷り上がり　　頁相当）

【写真の個数】　　　 　 個　（刷り上がり　　頁相当）

【電子付録の個数】　付表　 個，　付図　　個，　付写真　　個，　付動画　　個

【原稿の区分】※総説・原著・研究ノート・実践活動報告・資料・会員の声のうち，審査を希望する区分をひとつ選ぶ

【タイトル】※タイトルの前に改ページする

＜ランニングタイトル＞※タイトルが25字を超える場合にのみ，全角25字以内で記載する

※総説・原著・研究ノートの場合（実践活動報告の場合，以下を消去する）

【抄録】　　※【目的】などの見出しも含めて600字以内

【目的】

【方法】

【結果】

【結論】

※実践活動報告の場合（総説・原著・研究ノートの場合，以下を消去する）

【抄録】　　※【目的】などの見出しも含めて600字以内

【目的】

【活動内容】（【事業内容】も可）

【活動成果】（【事業成果】も可）

【今後の課題】

キーワード　※３～５個

〇〇，〇〇，〇〇，〇〇，〇〇

Ⅰ．緒　　言 　※原稿本文の前に改ページする

 　※「目的」「はじめに」も可

II.　方　　法 　※「対象と方法」も可。実践活動報告では「活動内容」または「事業内容」とする

図1

III.　結　　果 　※実践活動報告では「活動成果」または「事業成果」とする

表1

※図表等の挿入を希望する位置の枠外に，右の□をコピーして挿入位置を指示する

写真1

※電子付録の場合，枠外に指示することはできないが，本文内の必要箇所（方法や結果等）で言及する

IV.　考　　察 　※実践活動報告では「今後の課題」とする

V.　結　　論

謝　　辞 　※該当する場合は記載する

利益相反 ※有無を記載する

資　　金 　※該当する場合は記載する

電子付録 　※該当する場合は記載する。印刷時に電子ジャーナルのURLが追加されるため，投稿時のURLの記載は不要である

（記載例）

付表１　タイトル，付図１　タイトル。本資料はウェブサイトに掲載されています。

文　　献 　※執筆要領を十分に確認して記載する（文献の前の改ページは不要）

（記載例）

1. 黒谷佳代，中出麻紀子，瀧本秀美：主食・主菜・副菜を組み合わせた食事と健康・栄養状態ならびに食物・栄養素摂取状況との関連－国内文献データベースに基づくシステマティックレビュー－，栄養学雑誌，**76**, 77-88 (2018)
2. Tanaka, H., Imai, S., Nakade, M., et al.: The physical examination content of the Japanese National Health and Nutrition Survey: temporal changes, *Asia Pac. J. Clin. Nutr.*, **25**, 898-910 (2016)
3. 倉嶋優希，白石三恵：妊娠前または妊娠中のボディイメージと妊娠中の体重増加量の関連に関する系統的レビュー，日本助産学会誌，**33**，117-127， doi.org/10.3418/jjam.JJAM-2019-0010（2019）
4. Anders, S., Schroeter, C.: The impact of nutritional supplement intake on diet behavior and obesity outcomes, *PLoS One*, **12**, e0185258, doi: 10.1371/journal.pone.0185258 (2017)
5. 坪野吉孝，久道茂：食物摂取の変動要因，栄養疫学，pp．47-56（2001）南江堂，東京
6. 伊達ちぐさ，徳留裕子，吉池信男編：栄養素等摂取量算出のためのデータベース，食事調査マニュアル（第3版），pp．23-24（2016）南山堂，東京
7. 高田和子：引用文献の書き方，初めての栄養学研究論文　人には聞けない要点とコツ，栄養学雑誌編集委員会編，pp．64-66（2012）第一出版，東京
8. Pereira-Maxwell, F.: Geometric mean, A-Z of medical statistics: A companion for critical appraisal, p. 27 (1998) Oxford University Press, New York
9. Nakamura, M., Sugiura, M.: Health effects of β-Cryptoxanthin and β-Cryptoxanthin-enriched Satsuma mandarin juice, Nutrients in Beverages, Grumezescu, A.M., Holban, A.M. eds., pp. 393-417, doi.org/10.1016/B978-0-12-816842-4.00011-3 (2019) Elsevier B.V., Amsterdam
10. Willet, W.: Nutritional epidemiology. 2nd ed.／田中平三監訳，１回当たりに摂取される食品の大きさ（Potion Size），食事調査のすべて－栄養疫学－（第2版），pp．94-99（2003）第一出版，東京
11. Erdman Jr, J.W., Macdonald, I.A., Zeisel, S.H. eds.: Present knowledge in Nutrition. 10th ed.／木村修一，古野純典監訳，ビタミンC，最新栄養学（第 10 版），pp．220-231（2014）建帛社，東京
12. 文部科学省，厚生労働省：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針，https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000153339.pdf（2020年8月30日）
13. 厚生労働省健康局健康課長：「第３次食育推進基本計画」に基づく健康づくりのための食育の推進について，１地方公共団体による食育推進計画の見直し等について，平成28年4月1日，健健発0401第1号（2016）
14. 日本高血圧学会：日本高血圧学会減塩委員会報告2012，pp．27-37（2012）
15. 日本栄養改善学会：平成29年度厚生労働省委託事業　平成29年度管理栄養士専門分野別人材育成事業｢教育養成領域での人材育成｣報告，http://jsnd.jp/h29kourou.html （2020年8月30日）
16. 小山達也: 日本の中高年及び自立高齢者における「日本人の食事摂取基準」を用いた食事の質の栄養疫学的検討，大阪市立大学，2018年，博士論文，https://dlisv03.media.osaka-cu.ac.jp/il/meta\_pub/G0000438repository\_111TDB2886　（2020年8月30日）

図の説明 ※図の説明の前に改ページする

※図に脚注等の説明が必要な場合は記載する